

令和5年度事業計画書

〔 令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで 〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

本年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで、以下のとおり各公益事業活動に積極的に取り組んでまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の収集、展示、解説及び案内等を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に対し、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しています。

ア 特別展の開催

(ア) 「懐かしのSマーク展」(仮称)

6月6日～9月3日(予定)

東京地下鉄株式会社(東京メトロ)の前身である帝都高速度交通営団(営団地下鉄)で使用されていた「Sマーク」は、1953(昭和28)年から広告や社内報、電車車体等に使用され、その後、1960(昭和35)年に、同団の紋章として制定されました。

この「Sマーク」には地下鉄を表す英語のサブウェイ(SUBWAY)の頭文字のSのほか、制定当初は交通機関にとって最も重要な3つのSである安全(SAFETY)、正確(SEcurity)、迅速(SPEED)、その後、

1972（昭和47）年からはこれにサービス（SERVICE）を加えた4つのSの意味が込められていました。

この特別展では、地下鉄博物館で保管している「Sマーク」関係の資料から、日ごろ展示をしていないものを紹介します。

（イ）「地下鉄～いろんなトンネル～展」（仮称）

12月5日～翌年3月10日（予定）

地下鉄のトンネル建設には大きく分けて二つあります。

ひとつは「開削工法」といい、1927（昭和2）年の日本初の地下鉄開通当初から使われていた工法で、開いて削るという文字のごとく、道路の両端に杭を打ち込んでその間を掘り進み、床、壁、天井を構築し、また埋め戻す工法です。

そしてもうひとつが「シールド工法」で、近年は多くの地下鉄が地下を縦横に走り、また様々な埋設物が存在するため、新規の路線はこれらを避けて地下深くにトンネルを建設しなければならない、この課題を克服する最善の工法です。

この特別展では、これら二つの工法を中心にイラストや図表を用いながら紹介します。

イ イベントの実施

入館されたお客様により一層楽しんでいただけるよう、節目の期間において各種イベントを行います。

実施期間：春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、鉄道の日及び冬休み

内 容：図画工作、各種ゲーム、キャラクター撮影会、特別映画上映会及び国の重要文化財に指定されている1001号車の車内公開（同時にVRも公開）など

ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、グループ見学等の教育実習活動を受け入れます。

(2) 地下鉄関連資料の収集、保管及び貸し出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めます。

さらに、データベース化した貴重な資料を基にホームページに公開している「メトロアーカイブアルバム」の拡充に向け内容の更新等を行うとともに、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸し出しも行います。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

- ア POSレジ更新
- イ プレイランドコーナーQ&Aパソコン更新
- ウ 館内照明LED化
- エ 千代田線シミュレーター動揺装置改良

(4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様に喜んでいただき来館記念となるような博物館オリジナル商品の開発を積極的に行います。

(5) その他の取り組み

ア 2021年10月から公開した当館ホームページ上のVR映像（1001号車車内等）のコンテンツを増やし、バージョンアップします。

イ 「東武博物館」、「電車とバスの博物館（東急）」、「ロマンスカーミュージアム（小田急）」及び「京王れーるランド」の同業4館と年2回の情報交換会を行い、連携を図っていきます。

本年度も引き続き従来より使用している駅構内及び車両内のポスターをはじめとして、ホームページやTwitter等のSNSも有効に活用しながら、博物館のPRをしていきます。

2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室等の催しを通じて、多くの方々に、文化的で豊かな日々を提供するため、以下の事業を実施します。

(1) メトロコンサートの開催

音楽文化の普及を図るため毎年度開催している「メトロコンサート」については、リアルとオンラインの相乗効果が得られるよう、無観客状況下における演奏を収録した動画のオンライン上での配信、駅構内での開催及び小ホールにおける人数限定での開催を連動した形で、各々年1回開催します。

(2) メトロポリス・クラシックスコンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックスコンサート」を年1回開催します。

(3) 音楽の贈りものコンサートの開催

福祉活動及び音楽文化の振興に寄与するため、「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を都内及び近郊の高齢者福祉施設、病院等において、年6回開催します。

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催します。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内に展示します。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影テクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などで撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、その撮影作品の中から選考のうえ「メトロ文化展 写真の部」として、当財団のホームページにおいて発表します。

ウ 文学の部（メトロ文学館・展示）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、優秀作品を選び、車両内ポスターに掲出します。

また、優秀作品及び入選作品を「メトロ文化展 文学の部」として、当財団のホームページにおいて発表します。

（5）沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を、財団のホームページと「Echika 池袋ギャラリー」において年2回紹介します。

また、江戸の文化を今に伝える伝統工芸職人技の実演会を駅構内において年1回開催します。

（6）メトロ歴史教室・歴史散歩の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室・歴史散歩を年2回開催します。

（7）Echika 池袋ギャラリーの運営

芸術文化の振興に寄与し、また、駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に資するために池袋駅に設置した「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。

展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

(8) パブリックアートの設置・管理

芸術文化の振興に寄与し、人々の心に潤いを与えるため、駅構内に設置した「パブリックアート」の維持管理を行います。

現在「パブリックアート」は、副都心線西早稲田駅に2作品・北参道駅に1作品、有楽町線豊洲駅に1作品、銀座線上野駅・末広町駅・青山一丁目駅に各1作品、合計6駅7作品を設置していますが、上半期に新たに銀座線渋谷駅及び日比谷線虎ノ門ヒルズ駅に設置します。

また日比谷線銀座駅コンコースに設置した「メトロ銀座ギャラリー」の展示管理を行います。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図り、あわせて地下鉄に対する親しみを深めていただくため、以下の事業を実施します。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内及び車両内に掲出します。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配布

小学生を対象として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を制作し、主要駅及び地下鉄博物館において配布します。

(3) 鉄道教室の開催

交通マナーや地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催します。

(4) 啓発用グッズ類の配布

交通道德宣伝用啓発グッズを制作し、各種イベント参加者等に配布します。

以 上